

祈りの輪のロザリオ（５）

2020年5月15日（金）

【導入】（古屋敷シスター）

皆さん、新型コロナウイルス感染終息のために続けられているロザリオの祈りの輪に、今日も連なってください、心から感謝申し上げます。引き続き、大きな困難に直面して苦しむ世界の人々の為、聖母マリアの取り次ぎを願って祈りたいと思います。今日は「苦しみの神秘」を用いますが、各連の黙想への招きの言葉に替えて、カトリック聖歌集 372 番を 1 番ずつ歌って行きたいと思いますので、よろしく願いいたします。初めに、福音朗読を聞きましょう。

【福音朗読とメッセージ】（白浜司教）

【ヨハネ 20 章 19～23】

その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。そう言って、手とわき腹をお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。イエスは重ねて言われた。「あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。」そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。「聖霊を受けなさい。だれの罪でもあなたがたが赦せば、その罪は赦される。だれの罪でも、あなたがたが赦さなければ、ゆるされないまま残る。」

（メッセージ）

復活されたイエス様のからだには、受難のときの傷が残されていました。イエス様はそれをみせながら、使徒たちに聖霊の派遣を約束し、また、人々の罪をゆるす使命をお与えになっています。

Q&Aの構成になっている「カトリック教会のカテキズムの要約」（117）の中で、「イエスの死の責任はだれにありますか」という質問に対して、次のような答えが示されています。「イエスの受難と死を何の区別もなく、その当時生きていたユダヤ人のせいに…することはできません。個々の罪人すべてが、すなわちすべての人が、現実にあがない主の苦しみの原因であり、道具なのです。…それがキリスト者であればなおのことです。」

復活されたイエス様のからだの傷は、受難のときの傷であると同時に、神のみ心に背くわたしたち一人ひとりの過ちによるものです。イエス様は、わたしたちの罪による傷をも、その身に負って苦しみ続けておられます。それは、弱いわたしたち人間に連帯して、その罪をゆるし、その傷をいやすためです。事実、イエス様は、受難のときにご自分から離れ去った弟子たちの罪をゆるし、聖霊の働きによって、同じようにだれの罪をもゆるし、その傷をいやす使命を弟子たちにお与えになりました。ここに、神のいつくしみがあります。これこそが、神の栄光です。

新型コロナウイルス感染のパンデミックの中で、感染した人に対する偏見、医療従事者を敬遠する態度、感染終息に向けて取り組む人々の対応への批判などがありました。また、同時に今回の困難に直面して、生活の不安や混乱の中に追い込まれ、苦しんでいる方々も少なくありません。

苦しみの神秘を黙想しながら、自分の思い・ことば・おこない・怠りが、イエス様や自分の周りの人々の苦しみの原因となっていることを反省したいと思います。そして、だれの罪をもゆるし、その傷で苦しむ人々を、聖霊の働きによって癒そうとされるイエス様のいつくしみに自分の身を委ねて、世界中の多くの人々と助け合いながら、この困難を乗り越えることができるよう祈りましょう。

【先唱】（古屋敷シスター）

それでは、教皇フランシスコが作られた「聖母マリアへの祈り 1」を一緒に唱えましょう。

聖マリア、
あなたは救いと希望のしるしとして、

いつもわたしたちの歩みを照らしておられます。
病人の希望であるあなたに信頼して祈ります。
あなたは十字架の下で、揺るぎない信仰をもって、
イエスと苦しみとともにされました。
〔わたしたちの助け手〕であるマリア、
あなたはわたしたちに必要なものをご存じです。
わたしたちはあなたがそれを与えてくださると信じています。
ガリラヤのカナでなさったように、
この試練の後に喜び祝うときが再び訪れますように。
愛である神の母マリア、わたしたちを助けてください。
わたしたちが御父のみ心に応え、
イエスのことばに従って生きることができるよう。
イエスはわたしたちの苦しみをその身に負い、
わたしたちの悲しみを引き受け、
十字架を通して、
わたしたちを復活の喜びに導いてくださいます。アーメン。

神の母聖マリア、
あなたのご保護により頼みます。
苦難のうちにあるわたしたちの願いを聞き入れてください。
栄光に輝く幸いなおとめよ、
あらゆる危険から、いつもわたしたちをお救いください。

【ロザリオの祈り】 — 「苦しみの神秘」 — (白浜司教)

【使徒信条】

天地の創造主、全能の父である神を信じます。
父のひとり子、わたしたちの主イエス・キリストを信じます。
主は聖霊によってやどり、おとめマリアから生まれ、
ポンティオ・ピラトのもとで苦しみ受け、
十字架につけられて死に、葬られ、陰府に下り、
三日目に死者のうちから復活し、天に昇って
全能の父である神の右の座に着き、
生者（せいしゃ）と死者を裁くために来られます。
聖霊を信じ、聖なる普遍の教会、聖徒の交わり、
罪のゆるし、からだの復活、永遠のいのちを信じます。
アーメン。

【主の祈り】（1回）

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。
アーメン。

【アヴェ・マリアの祈り】（3回）

アヴェ、マリア、恵みに満ちた方、

主はあなたとともにおられます。

あなたは女のうちに祝福され、ご胎内の御子イエスも祝福されています。

神の母聖マリア、わたしたち罪びとのために、

今も、死を迎える時も、お祈りください。アーメン。

【栄唱】

栄光は父と子と聖霊に。

初めのように今もいつも世々に。アーメン。

第1の黙想 イエス、苦しみもだえる(日本語：荻神父)

みよやゲッセマニの園 み子は血の汗流し
ひとり祈りしたもうは 誰(た)が為の苦しみぞ
(繰り返し)

みははよ わがために み子に取次ぎ給え
切なるわれらの願い み子に執成し給え

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第2の黙想 イエス、むち打たれる(英語：久保神父)

罪なきに縄目を受け 鞭もて打たれつつも
世の罪のあがないなり なすがまま耐忍ぶ
(繰り返し)

みははよ わがために み子に取次ぎ給え
切なるわれらの願い み子に執成し給え

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第3の黙想 イエス、いばらの冠をかぶせられる(韓国語：古屋敷シスター)

茨のとげもそのまま 冠を造り編みて
み子のみ頭にかぶせ 人びとは嘲りぬ
(繰り返し)

みははよ わがために み子に取次ぎ給え
切なるわれらの願い み子に執成し給え

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第4の黙想 イエス、十字架を担う(ポルトガル語：野中神父)

重き十字架 にないて ゴルゴタへの道行き
主は三度倒れましぬ われも主に従わん
(繰り返し)

みははよ わがために み子に取次ぎ給え
切なるわれらの願い み子に執成し給え

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

第5の黙想 イエス、息をひきとる(フランス語：シルベスター助祭)

世の罪をあがなうため 十字架に付けられて
み命ささげたまいぬ 主の愛は限りなし
(繰り返し)

みははよ わがために み子に取次ぎ給え
切なるわれらの願い み子に執成し給え

【主の祈り】(1回)

【アヴェ・マリアの祈り】(10回)

【栄唱】(1回)

【結びに】(古屋敷シスター)

皆さん、イエス様と共に、自分の苦しみの十字架をおささげしながら生きることができるよう、派遣の祝福をいただきましょう。

【祝福】(白浜司教)

司 主は皆さんとともに。

一同 また司祭とともに。

司 全能の神、父と子と聖霊の祝福が + 皆さんの上にありますように。

一同 アーメン。

司 ロザリオの祈りを終わります。行きましょう、主の平和のうちに。

一同 神に感謝。

【カトリック聖歌集】321番「めぐみのみははよ」1番・2番 (荻神父)

1 めぐみのみ母よ みまえに伏して
祈れるわれらを かえりみたまえ
(繰り返し)

みははよ つねに われらは歌わん
「マリアに祈りし ねがいはすべて
わが主は必ず聞き入れ給わん 聞き入れ給わん」

2 やさしきみ母よ みあとをしたう
か弱きこの身を みちびきたまえ
(繰り返し)

みははよ つねに われらは歌わん
「マリアに祈りし ねがいはすべて
わが主は必ず聞き入れ給わん 聞き入れ給わん」

【聖歌の後】(古屋敷シスター)

皆さん、今日も、ロザリオの祈りの輪に加わっていただき、どうも有難うございました。それでは、皆さん、お体にはくれぐれも気をつけて、お過ごしください。また、来週、よろしくお祈いします。さようなら。